



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4220 URL <https://www.rikentechnos.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	47,252	3.0	2,705	5.9	2,777	5.4	1,606	33.6
30年3月期第2四半期	45,890	6.3	2,554	△12.3	2,634	△1.6	1,202	7.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,542百万円(△19.8%) 30年3月期第2四半期 1,922百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	25.04	24.12
30年3月期第2四半期	20.36	18.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	93,058	55,477	51.7
30年3月期	91,866	54,854	51.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 48,155百万円 30年3月期 47,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年3月期	—	6.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	5.7	6,300	16.7	6,100	12.7	2,900	14.3	45.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期2Q	66,113,819株	30年3月期	66,113,819株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	1,607,307株	30年3月期	2,005,873株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期2Q	64,174,969株	30年3月期2Q	59,055,485株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産活動は豪雨等の影響も一部にみられましたが、設備投資や個人消費は堅調に推移し、緩やかな回復傾向となりました。

海外では、米国経済は個人消費、民間設備投資が堅調で景気回復が続いております。欧州経済は内需を中心にゆるやかに回復しておりますが、中国経済は景気持ち直しの動きに足踏みがみられました。

産業別には、国内の自動車業界は、後半に軽自動車の販売が伸びたものの全体として横ばいとなりました。建材業界においては、住宅着工件数は微減となり、家電業界においては、猛暑の影響および高機能製品が堅調に推移し全体として微増となりました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。

その結果、売上高は47,252百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)3.0%増)、営業利益は2,705百万円(前年同期比5.9%増)、経常利益は2,777百万円(前年同期比5.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,606百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [コンパウンド]

国内のコンパウンド事業のうち、塩ビコンパウンドは、建材市場の住宅向けが減少しましたが、その他の建材市場および電線市場で、総じて好調に推移し増収となりました。エラストマーコンパウンドは、主力の自動車市場にて拡販が進み、電線市場も好調に推移した事から増収となりました。

海外では、米国現地法人において自動車市場、電線市場にて低調に推移しましたが、タイ国現地法人においては自動車市場および電線市場にて、中国現地法人、インドネシア国現地法人においては電線市場にて好調に推移し、海外全体では増収となりました。

利益につきましては、グローバルで売上を伸ばし、原材料価格の改定に伴う、製品価格の適正化もあり、増益となりました。

その結果、売上高は33,058百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益は2,506百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

#### [フィルム]

国内のフィルム事業のうち、建装材市場の住宅分野では、新築住宅着工件数が微減で推移する中で、減収となりました。非住宅分野では首都圏を中心としたオフィスビル、ホテル、物流施設等の新築、リニューアル等の需要は堅調でしたが、流通在庫の調整や慢性的な人出不足による工期遅れもあり、減収となりました。

輸出は、建装材市場では、北米および中国向けは新規顧客の採用を含めて堅調に推移しましたが、欧州向けは依然回復の兆しが見えず、全体として横ばいでした。電線市場では、自動車用は日系顧客以外の新規採用もあり堅調に推移しましたが、民生用が減少し、売上は横ばいとなりました。光学分野では、大型案件の量産化により増収となりました。

利益につきましては、光学分野での数量増加による生産性の改善が寄与し損失が減少しました。

その結果、売上高は6,832百万円(前年同期比4.2%増)、セグメント損失は37百万円(前年同期は126百万円の損失)となりました。

#### [食品包材]

国内の食品包材事業においては、飲食店および家庭用小巻ラップでは拡販が進みましたが、食品スーパー向け業務用ラップでは新規拡販が進んだものの、水産品の入荷不足等による需要の低迷から既存顧客向け販売が振るわず、全体の売上は横ばいとなりました。

中国現地法人においては、拡販が進み増収となりました。

利益につきましては、製品価格の適正化が遅れ減益となりました。

その結果、売上高は5,377百万円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は267百万円(前年同期比23.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は93,058百万円(前連結会計年度末比1,192百万円増加)となりました。これは主に現金及び預金や有形固定資産が増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は37,580百万円(前連結会計年度末比568百万円増加)となりました。これは主に仕入債務が増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は55,477百万円(前連結会計年度末比623百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金等の株主資本が増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月1日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,790,082	16,040,524
受取手形及び売掛金	25,200,204	24,871,427
商品及び製品	6,343,924	6,692,331
仕掛品	650,566	707,019
原材料及び貯蔵品	5,195,751	5,171,560
その他	1,316,124	1,309,411
貸倒引当金	△112,531	△110,440
流動資産合計	53,384,121	54,681,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,804,889	9,619,014
機械装置及び運搬具(純額)	9,226,349	9,180,735
土地	6,458,132	6,393,081
リース資産(純額)	28,746	23,504
建設仮勘定	1,336,417	2,010,901
その他(純額)	741,278	712,668
有形固定資産合計	27,595,814	27,939,906
無形固定資産		
のれん	291,959	196,170
リース資産	11,995	28,761
その他	2,147,153	1,821,362
無形固定資産合計	2,451,107	2,046,295
投資その他の資産		
投資有価証券	6,571,580	6,555,333
長期貸付金	54,286	50,266
退職給付に係る資産	563,405	623,131
繰延税金資産	443,347	396,497
その他	806,311	769,374
貸倒引当金	△3,770	△3,770
投資その他の資産合計	8,435,162	8,390,833
固定資産合計	38,482,084	38,377,035
資産合計	91,866,206	93,058,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,727,414	18,138,898
短期借入金	6,490,266	6,929,349
1年内返済予定の長期借入金	443,906	360,627
リース債務	11,739	17,842
未払法人税等	569,420	717,409
賞与引当金	656,720	644,605
役員賞与引当金	70,422	54,864
その他	2,850,672	2,879,164
流動負債合計	28,820,563	29,742,762
固定負債		
社債	1,170,000	1,000,000
長期借入金	4,396,471	4,172,007
リース債務	29,452	36,479
繰延税金負債	1,021,590	999,047
役員株式給付引当金	93,575	128,449
退職給付に係る負債	1,116,690	1,104,473
資産除去債務	314,607	322,300
その他	49,054	75,479
固定負債合計	8,191,441	7,838,236
負債合計	37,012,004	37,580,999
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	7,297,981	7,329,799
利益剰余金	28,937,991	30,151,253
自己株式	△828,559	△671,430
株主資本合計	43,921,432	45,323,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,219,427	3,215,736
為替換算調整勘定	442,192	△13,035
退職給付に係る調整累計額	△409,332	△370,771
その他の包括利益累計額合計	3,252,287	2,831,929
非支配株主持分	7,680,481	7,322,299
純資産合計	54,854,201	55,477,869
負債純資産合計	91,866,206	93,058,869

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	45,890,214	47,252,772
売上原価	37,500,409	38,692,717
売上総利益	8,389,804	8,560,055
販売費及び一般管理費	5,834,911	5,854,095
営業利益	2,554,893	2,705,960
営業外収益		
受取利息	13,914	17,624
受取配当金	71,020	78,594
為替差益	14,803	47,412
その他	87,988	45,257
営業外収益合計	187,727	188,889
営業外費用		
支払利息	93,913	102,373
その他	14,060	14,587
営業外費用合計	107,973	116,961
経常利益	2,634,646	2,777,888
特別利益		
固定資産売却益	2,143	3,433
投資有価証券売却益	64,358	292,203
特別利益合計	66,501	295,637
特別損失		
固定資産売却損	6,871	—
固定資産除却損	21,769	12,621
環境対策費	—	25,587
特別損失合計	28,641	38,208
税金等調整前四半期純利益	2,672,506	3,035,317
法人税等	849,353	772,740
四半期純利益	1,823,153	2,262,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	620,515	655,781
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,202,637	1,606,796



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,823,153	2,262,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	473,924	△3,993
為替換算調整勘定	△399,473	△754,868
退職給付に係る調整額	25,379	38,560
その他の包括利益合計	99,830	△720,300
四半期包括利益	1,922,983	1,542,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,428,915	1,186,438
非支配株主に係る四半期包括利益	494,067	355,838

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,672,506	3,035,317
減価償却費	1,638,605	1,749,930
のれん償却額	95,788	95,788
賞与引当金の増減額(△は減少)	△98,780	△9,114
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,835	△15,558
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△824	△2,060
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△99,002	35,458
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	51,331	34,874
受取利息及び受取配当金	△84,934	△96,219
支払利息	93,913	102,373
投資有価証券売却損益(△は益)	△64,358	△292,203
有形固定資産売却損益(△は益)	4,728	△3,433
有形固定資産除却損	21,769	12,621
売上債権の増減額(△は増加)	△355,711	86,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	△942,041	△598,823
仕入債務の増減額(△は減少)	98,819	593,459
未払消費税等の増減額(△は減少)	△131,605	69,121
その他	402,142	168,666
小計	3,283,510	4,967,149
利息及び配当金の受取額	83,140	95,064
利息の支払額	△95,259	△97,746
法人税等の支払額	△664,167	△615,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,607,225	4,349,081
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△118,075	△18,076
定期預金の払戻による収入	118,853	127,246
有形固定資産の取得による支出	△1,543,299	△2,343,781
有形固定資産の売却による収入	5,131	3,507
無形固定資産の取得による支出	△70,466	△12,976
投資有価証券の取得による支出	—	△196
投資有価証券の売却による収入	92,134	243,866
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	4,356	2,527
その他	17,048	△2,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,495,316	△2,000,542

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△264,740	507,842
長期借入れによる収入	137,500	—
長期借入金の返済による支出	△239,605	△204,366
リース債務の返済による支出	△10,649	△10,341
自己株式の売却による収入	147,798	15,502
自己株式の取得による支出	△137,661	△3
配当金の支払額	△350,241	△383,785
非支配株主への配当金の支払額	△481,016	△711,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198,617	△786,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83,434	△198,840
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,143	1,363,492
現金及び現金同等物の期首残高	14,369,863	14,655,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,199,720	16,019,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	32,247,905	6,553,872	5,335,605	44,137,383	1,752,831	45,890,214	—	45,890,214
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	138,376	38,479	—	176,856	158,773	335,629	△335,629	—
計	32,386,281	6,592,352	5,335,605	44,314,239	1,911,604	46,225,843	△335,629	45,890,214
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,442,794	△126,958	350,525	2,666,361	△9,572	2,656,789	△101,896	2,554,893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△101,896千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	33,058,363	6,832,125	5,377,172	45,267,662	1,985,110	47,252,772	—	47,252,772
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	123,924	22,742	377	147,044	576,632	723,677	△723,677	—
計	33,182,288	6,854,868	5,377,550	45,414,707	2,561,743	47,976,450	△723,677	47,252,772
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,506,196	△37,569	267,441	2,736,069	68,621	2,804,690	△98,730	2,705,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△98,730千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。